

彩と共に豊かな暮らしへ

Interim Business Report

第88期 中間報告書 2023.4.1 ▶ 2023.9.30



Pigment 日本ピグメント株式会社

証券コード：4119

株主のみなさまへ



代表取締役
社長執行役員 加藤 龍巳

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素から格別のご支援とご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第88期上半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の「ビジネスレポート」をお届けいたします。

第88期上半期は、国内では、インバウンド需要の回復や自動車の生産台数回復により自動車関連の受注も回復基調ではありましたが、依然として在庫調整や電気料金高騰などの影響を受け、当初の業績予想を下回る結果となりました。

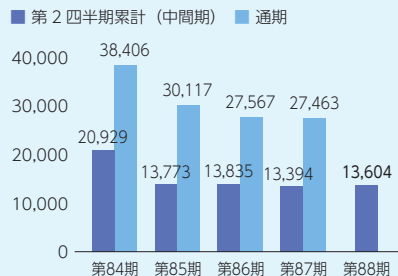
下半期は、自動車関連等の顧客の在庫調整が落ち着き業績回復を見込んでおり、5月12日に公表した通期業績予想の達成に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

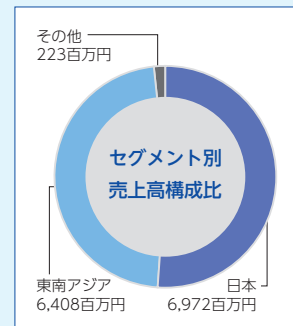
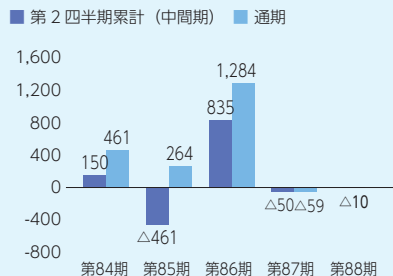
2023年12月

■ 連結業績ハイライト

売上高 (百万円)



営業利益又は営業損失 (△) (百万円)



第88期上半期の業績

【日本】

国内部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、国内自動車生産は回復傾向にあるものの、全体取扱数量の減少に伴い部門営業利益は昨年を下回りました。

樹脂用着色剤部門は、自動車関連の販売、化粧品・トイレットリー向けで回復を見せるも、フィルム、繊維関係で伸び悩み、部門営業利益は昨年を下回りました。

加工カラー部門は、主要取引先の自動車用内装材関連、建材関係が堅調に推移し、液体分散体では大型ディスプレイ用途が徐々に回復傾向にあり、部門営業利益は昨年を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、69億7千2百万円（前年同期比7.2%増）、営業損失は1億2千1百万円（前年同期営業損失2億7百万円）となりました。

【東南アジア】

東南アジアは、中国をはじめとする各国での需要低迷の影響から販売は減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は64億8百万円（前年同期比2.9%減）となり、営業利益は、販売数量の減少や電気料金高騰の影響により1億5千5百万円（前年同期比12.4%減）となりました。

【その他】

その他は、中国での新型コロナウイルス感染症の経済への影響が弱まったものの、日系自動車販売の回復が見られず販売が減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億2千3百万円（前年同期比23.1%減）となり、営業損失は4千3百万円（前年同期営業損失2千万円）となりました。

【全体】

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は136億4百万円（前年同期比1.6%増）、経常利益は1億1千6百万円（前年同期比52.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1千6百万円（前年同期比75.2%減）となりました。

今後の見通し

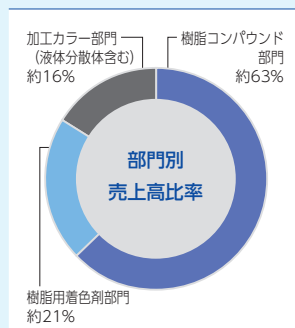
外部環境については、地政学的リスクの増加、中国国内需要回復の不透明感継続など、引き続き厳しい状況が継続する見通しです。

日本国内の自動車向け需要は2023年下期の回復を見込む一方、エンジニアリングプラスチックなどでのグローバル需要の低迷継続、製造関連コストの高止まりなどへの対処をより一層のスピード感を持って推進してまいります。

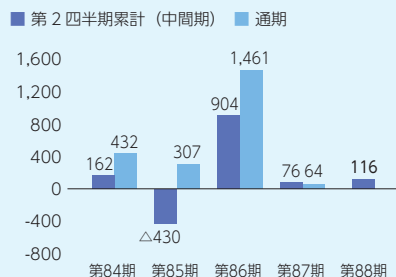
東南アジアについても、取扱数量の減少や原材料価格、電気料金の高騰などによるマイナス要因は継続しておりますが、販売強化による収益確保を目指してまいります。

通期の連結業績予想（2023年5月12日公表）

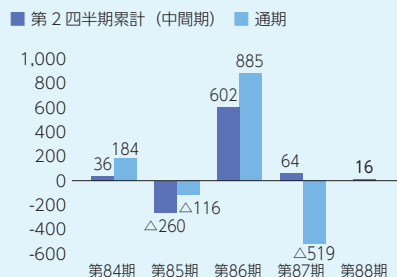
売上高	30,700百万円
営業利益	460百万円
経常利益	600百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	350百万円
期末配当金（予想）	100円



経常利益又は経常損失（△）（百万円）



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益又は親会社株主に帰属する四半期（当期）純損失（△）（百万円）



連結財務データ

■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	当第2四半期末 2023年9月30日現在	前期末 2023年3月31日現在
資産の部		
流動資産	16,137,818	15,048,640
固定資産	14,582,397	14,032,561
有形固定資産	7,725,768	7,629,347
無形固定資産	160,389	147,612
投資その他の資産	6,696,239	6,255,600
資産合計	30,720,215	29,081,201
負債の部		
流動負債	10,682,662	9,895,115
固定負債	4,281,815	3,995,162
負債合計	14,964,478	13,890,277
純資産の部		
株主資本	12,021,911	12,162,987
その他の包括利益累計額	2,524,541	1,989,656
非支配株主持分	1,209,283	1,038,280
純資産合計	15,755,737	15,190,924
負債純資産合計	30,720,215	29,081,201

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	当第2四半期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	前第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	938,162	69,564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172,636	△452,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,916	△10,315
現金及び現金同等物に係る換算差額	69,959	546,685
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	774,569	153,225
現金及び現金同等物の期首残高	2,344,595	4,688,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,119,164	4,841,888

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	当第2四半期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	前第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
売上高	13,604,370	13,394,793
売上原価	11,959,488	11,873,133
売上総利益	1,644,882	1,521,660
販売費及び一般管理費	1,655,340	1,572,350
営業損失 (△)	△10,458	△50,690
営業外収益	172,169	205,932
営業外費用	45,647	79,212
経常利益	116,063	76,029
特別利益	668	26,274
特別損失	964	384
税金等調整前四半期純利益	115,767	101,919
法人税、住民税及び事業税	45,907	36,742
法人税等調整額	13,089	△19,896
法人税等合計	58,996	16,846
四半期純利益	56,771	85,073
非支配株主に帰属する四半期純利益	40,771	20,576
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,000	64,496

▶ ポイント

連結貸借対照表について

資産合計は307億2千万円と前期末に比べ16億3千9百万円の増加となりました。この主な要因は、流動資産が10億8千9百万円、固定資産が5億4千9百万円、それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は149億6千4百万円と前期末に比べ10億7千4百万円の増加となりました。この主な要因は、流動負債において、支払手形及び買掛金が5億2千1百万円、その他が2億2千1百万円それぞれ増加し、固定負債においては、長期借入金が1億6千7百万円、繰延税金負債が1億6百万円それぞれ増加しております。

純資産は157億5千5百万円と前期末に比べ5億6千4百万円の増加となりました。この主な要因はその他有価証券評価差額金が2億3千6百万円、為替換算調整勘定が2億9千3百万円それぞれ増加し、利益剰余金が1億4千万円減少したことなどによるものです。

トピックス

■ 日本ピグメントグループにおける環境への取り組み

当社は、2021年5月27日に公表した中期経営計画“Change & Evolution 2025”の中で、「持続可能な社会実現への貢献」を掲げ、その課題の一つとして、「環境リスク低減」の取り組みを強化することとしています。具体的な取り組み例をご紹介します。

■ 環境・地域社会への取り組み

インドネシアでのマングローブ植林について

当社は、2023年10月14日、インドネシア共和国における子会社P.T. Nippisin Indonesiaとともに、北ジャカルタのムアラ・ゲンボン沿岸部でマングローブ林の植樹を実施いたしました。

約2ヘクタールの海岸沿いにマングローブ苗木を5,000本、現地孤児の子供を教育する碑文自然学校「Sekolah Alam Prasasti」のサポートを受けながら地元住民の方と一緒に植樹いたしました。当日は多くの現地メディアによる取材も受けており、インドネシア国内でもプレスリリースされました。

マングローブ林はCO₂吸収量が他の熱帯林の4~5倍と優れているだけでなく、地球温暖化・海面上昇による海岸浸食を食い止めて地元住民の居住地を守る、生態系を保全することで漁業資源を回復させて地元住民の生活基盤を守るなど、多くの効果が期待されます。

日本ピグメントグループは、社会から信頼される企業を目指し、これからも植樹活動を通じて環境保全と地元住民のサポートに取り組んでいく所存です。

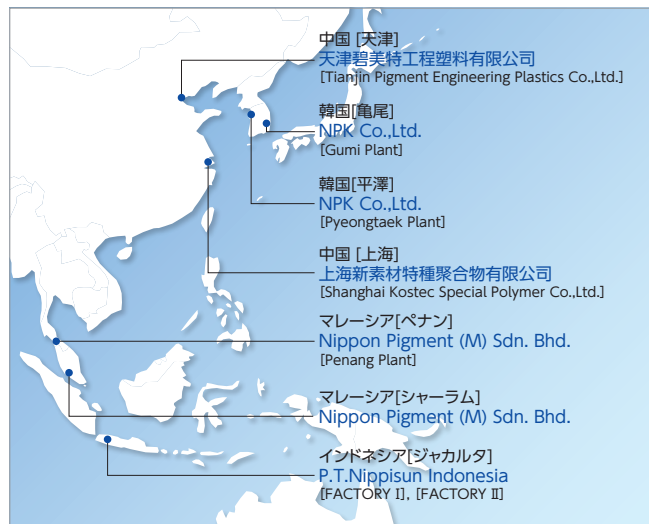


事業紹介

国内生産拠点



海外生産拠点



エリア別 部門・海外拠点 主要製品

	部門・海外拠点	主要製品
日本	樹脂コンパウンド部門 機能性カラー部門 (樹脂用着色剤・加工カラー・液体分散体)	<ul style="list-style-type: none"> ■ オレフィン樹脂・スチレン樹脂・エンジニアリングプラスチックなど各種樹脂コンパウンド ■ 自動車内外装部品用・シャンプー等プラスチック容器用・フィルム用・シート用・繊維用など樹脂用着色剤 ■ 自動車内装表皮材用・シーリング材用・床材用など着色剤 ■ 情報家電 (液晶TV、スマホ、タブレットモニター) 用液体分散体
東南アジア	マレーシア (2拠点) インドネシア (2工場)	<ul style="list-style-type: none"> ■ オレフィン樹脂・スチレン樹脂・エンジニアリングプラスチックなど各種樹脂コンパウンド ■ 樹脂用着色剤
その他	中国	<ul style="list-style-type: none"> ■ オレフィン樹脂・スチレン樹脂・エンジニアリングプラスチックなど各種樹脂コンパウンド ■ 樹脂用着色剤

会社の概要 (2023年9月30日現在)

概要

会社名	日本ピグメント株式会社 (Nippon Pigment Company Limited)
本社所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目20番地
代表者	代表取締役 社長執行役員 加藤 龍巳
創業	1925年 (大正14年)
事業内容	当社グループは各種樹脂コンパウンド、各種樹脂用着色剤、インキ塗料用着色剤、電子材料用着色剤液体分散体などの製造、販売を行っております。
資本金	14億8,115万円
株式	東京証券取引所スタンダード市場
主要な事業目的	1. 各種樹脂、ゴム、繊維等の着色剤の製造および販売 2. 各種樹脂の加工および販売 (樹脂コンパウンド) 3. 各種着色剤の製造および販売 4. 各種インキ、塗料とそれら関連材料の製造および販売

役員ならびに執行役員

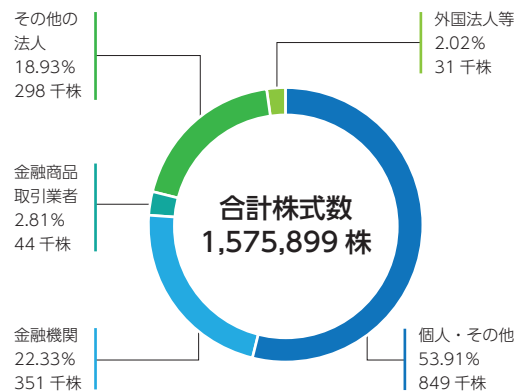
代表取締役 社長執行役員	加藤 龍巳	経営全般・内部監査室・購買部担当
代表取締役 専務執行役員	田代 喜一	経営管理本部・総務部・経理部・システム部・法務コンプライアンス統括室管掌
取締役	三輪 幸一(新任)	
取締役 常勤監査等委員	今井 信一(新任)	
社外取締役 監査等委員	村松 伸一	
社外取締役 監査等委員	鈴木 洋子	
社外取締役 監査等委員	宮崎 達彦	
常務執行役員	光枝 孝宗	営業本部長
常務執行役員	梶 英俊	総務部・経理部・法務コンプライアンス統括室担当
上席執行役員	至田 順彦	経営管理本部長兼品質保証室担当
上席執行役員	渡辺 紳司	開発本部長
執行役員	奥本 隆巳	生産本部長
執行役員	難波 正文	営業本部副本部長 兼樹脂コンパウンド統括部長
執行役員	加賀屋重雄	生産本部副本部長兼大阪工場長
執行役員	大竹 弘毅	営業本部副本部長
執行役員	荒瀬 嘉剛	システム部長
執行役員	小川 芳輝	経営管理本部戦略推進統括部長

株式の状況

(1) 発行可能株式総数	3,000,000株
(2) 発行済株式総数	1,575,899株 (うち自己株式 6,172株)
(3) 株主数	1,538名
(4) 大株主 (上位10名)	

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本ピグメント取引先持株会	184	11.77
株式会社みずほ銀行	70	4.46
株式会社十六銀行	69	4.45
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	61	3.92
日本化薬株式会社	51	3.31
東京海上日動火災保険株式会社	49	3.14
三井住友信託銀行株式会社	43	2.79
東レ株式会社	35	2.29
長瀬産業株式会社	32	2.08
田中 洋二	30	1.91

所有者別株式分布状況



(注) 自己株式 6,172 株は、「個人・その他」に含めております。

株主メモ

- 上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場
- 証券コード 4119
- 単元株式数 100株
- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月中
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
- 株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 単元未満株式買取手数料
および買増手数料 無料
- 公告掲載方法 電子公告といたします。
当社ホームページアドレス
<https://www.pigment.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。)

株式に関するお手続きについて

証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ ご照会の内容	<ul style="list-style-type: none">● 住所・氏名等のご変更● 単元未満株式の買取・買増請求● 配当金の受領方法の指定 等

※未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

特別口座に記録された株式をご所有の株主様

お手続き お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
-----------------	---

※特別口座では、株式の売却はできません。
売却するには、証券会社等に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

HPのご案内

詳しいIR情報は当社ホームページにて掲載しています。

<https://www.pigment.co.jp/>

日本ピグメント株式会社

検索

HPへの
QRコード



日本ピグメント株式会社

